

鹿児島県における「地域づくりによる 介護予防推進支援事業(国モデル事業)」 を活用した市町村支援の取組について



★鹿児島県基本情報★

- ・ 65歳以上の高齢者割合：28.6%（H26年10月年齢別推計人口）
- ・ 高齢者単身世帯割合：14.1%（全国1位）（H22年国勢調査）
- ・ 要介護認定率 20.4%（H27年10月末 介護保険事業報告）
- ・ 県平均第1号保険料月額 5,719円（第6期）

★鹿児島県の事業取組の歩み★

- 【事業1年目】2市立ち上げ（2市共に県庁から車で1時間以内）
- 【事業2年目】5市町村立ち上げ（県庁から離れた離島やへき地市町村）
国アドバイザーも、飛行機・フェリー等を使い継いで現地支援。
- 【事業3年目】5市町村（+2～3）が立ち上げ予定。



平成27年度の主な活動

- ◎市町村全体研修・モデル市町村担当者打合せ（8月）
- ◎振興局・支庁担当者打合せ（9月）
- ◎現地支援：住民説明，サポーター養成講座，トップセミナー（10月～12月）
- ◎介護予防従事者研修会における取組の周知・普及（2月，3月）
- ◎モデル市町村及び振興局・支庁職員における情報・意見交換会（2月）

※鹿児島県の仕組
・県介護福祉課
・振興局・支庁等 = 保健所

平成27年度モデル市町村における現地支援 ①（モデル5市町村が実施）

十島村
住民説明会（平成27年10月）

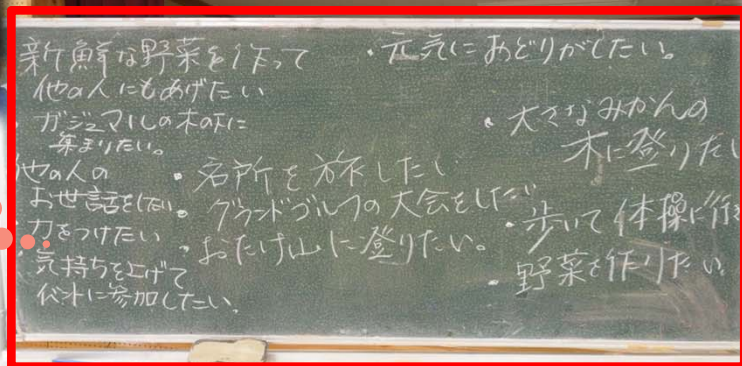


～グループワーク～

元気になったら
何がしたい？

新鮮な野菜を作って
近所の人にあげたい

大きなミカンの木に
登りたい！



宇検村
トップセミナー・住民説明会（平成27年11月）

宇検村では、
「こけないからだ体操」と「筋膜マッサージ」の
コラボ体操を実施中♪

平成27年度モデル市町村における現地支援 ②（モデル5市町村で実施）



阿久根市 トップセミナー・住民説明会
(平成27年11月)



肝付町 住民説明会
(平成27年11月)



西之表市 トップセミナー・住民説明会
(平成27年12月)

支援のポイント！工夫した点！

- ★ 地域住民や支援者と「住民主体って…」 「自立支援って…」 「介護予防って…」 「介護保険制度って…」 「わが町の介護保険料は…？」等について共に考え、意識付け！
- ★ 平成26年度先行市の**住民代表**による**活動報告**等を行い「住民主体の通いの場」の展開状況や具体的な効果の**周知・普及啓発**
- ★ 今年度のモデル市町村が使用した資料をモデル市町村、管轄保健所間で**随時共有**を図り、モデル市町村の事業展開をサポート！
- ★ 市町村が作成する説明資料の作成支援



住民代表さんからの活動報告&
教室の実演！

地域づくりによる介護予防推進支援事業 県内モデル市町村（27年度末）



日置市：20ヶ所
 いちき串木野市：55ヶ所
 立ち上がりました！
 （H28年1月末時点）

県内，7市町村が取り組んでいます！

27年度末時点での鹿児島県の今後の展開方針

モデル事業の成果

- ★ より効果的に事業展開していくためのノウハウが整理された！
- ★ 平成26年度先行市の主体的で地域の実情に応じた、「地域づくりによる介護予防事業」展開スキルの向上！
- ★ 事業実施市町村が増え、元気な方も、支援を要する方も通うことのできる、「地域の受け皿」が拡大中！
いちき串木野市は高齢者人口の13%が参加！

先行市町村が経験を積み、他の市町村へ助言・支援を行っている。
⇒ **事業アドバイザーの役割**を担いつつある！

わたしたちの「居場所」「活き場所」「生き場所」が広がっています！

モデル市町村の身近な相談先が不明確で、戸惑いあり…

市町村支援の課題・反省点

- ★ モデル市町村、管轄保健所、県介護福祉課等、各部署の役割分担等に関して、十分な共通理解が不足

H28年度は、それぞれの役割をさらに明確化し、体制を整えて事業展開予定！



「行政」と「住民」が一体となった地域づくり

今後の展開方針

《平成28年度も引き続き、市町村の「住民主体の通いの場」づくりを支援！！》

- ★ 先行市町村の取組が効果的に**継続**していくために必要な支援の検討
- ★ 全市町村への取組の更なる推進・普及
- ★ モデル事業を通じた**市町村間の支援体制づくり**の推進
- ★ **事業評価**に関する検討

7 先行市町村を事業アドバイザーとして、モデル市町村の事業展開を支援予定！

市町村の「住み慣れたかごしまで、自分らしく、いつまでも暮らし続けられる地域づくり」をサポート！

ここからが、平成28年度の計画です。



平成28年度 地域づくりによる介護予防推進支援事業 ～かごしまモデル体制図～

【新規モデル市町村】

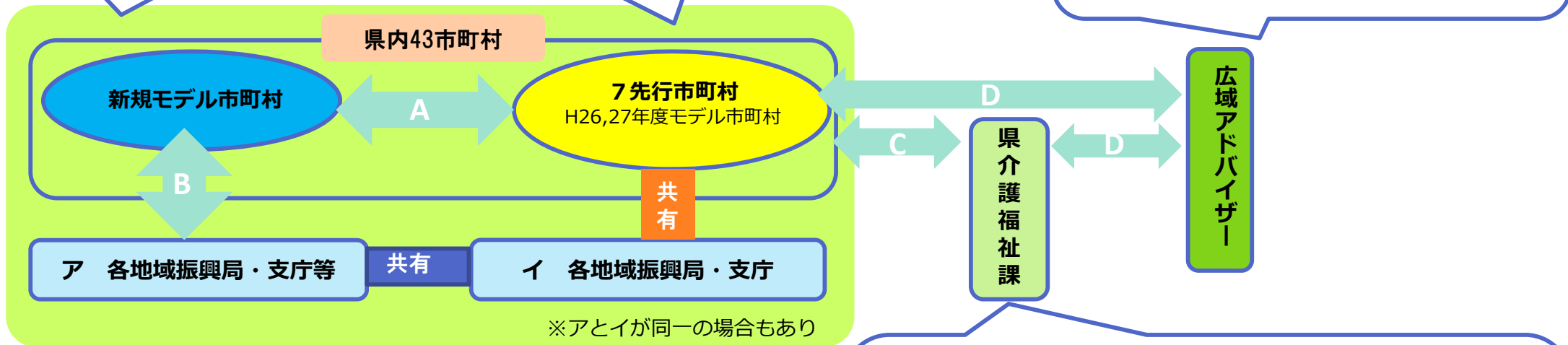
- ① 地域診断・戦略策定
- ② 先行モデル市町村の現地視察
- ③ 現地支援企画・実施
- ④ 事業評価
- ⑤ 国へ報告書提出

【7先行市町村の役割】・・・A

- ① 事業アドバイザー
- ② 現地支援の講師
- ③ 事業評価

【広域アドバイザーの役割】・・・D

- 7先行市町村及び県の支援
- ① 県が主催する研修会における講師
- ② 先行7市町村への助言
- ③ 県の市町村支援に対する助言



【地域振興局・支庁等の役割】・・・B

- モデル市町村への直接支援
 - ① モデル市町村との事業打合せ
 - ② モデル市町村の地域診断・戦略策定作成のサポート
 - ③ 現地支援における調整・サポート
 - ④ 教室立ち上げ後の現場支援
- ※ 予算：地域支援事業・充実強化支援事業を活用。

【介護福祉課の役割】・・・C

- 地域振興局・支庁等のモデル市町村支援をサポート
- ① 市町村全体研修会
- ② 先行7市町村，地域振興局・支庁等担当者情報交換会
- ③ 介護予防従事者専門研修会（成果報告会）
- ④ 随時情報提供・質疑照会・全体進捗確認
- ⑤ 広域アドバイザー，他関係機関等との連絡調整
- ⑥ 国へ報告書提出

※1 新規モデル市町村の選考について

本県は、1地域振興局・支庁等におおむね1モデル市町村を想定している。
 想定数以上の市町村からの手上げがあった場合、モデル以外の市町村は、事業打合せや現地支援に参加し事業展開のノウハウを理解した上で、独自で取り組んでもらうこととする。
 基本的に事業アドバイザーの直接支援が入るのは、モデル市町村のみ。

※2 事業アドバイザーの担当市町村の決め方について

基本的に、モデル市町村と同じ管轄地域振興局・支庁内の先行モデル市町村が担当する。
 ※ 先行モデル市町村の負担等を勘案し、モデル市町村との距離が近いことを優先する。

H28.3.28付各地域振興局・支庁へ情報提供

各機関の主な役割とスケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------------|----------|-----------|------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|-------------|-----------|-------|---------------------------|-----------------------------------|--------------------|
| 新規モデル市町村 | 意向届提出 | | 地域診断・戦略策定 | 市町村介護予防従事者研修会 | 先行モデル市町村の視察 | 現地支援 ・支援者研修会 ・住民説明会 | | 通いの場の立ち上げ | ・初回評価 | ・3ヶ月後評価 | 介護予防従事者専門研修会、先行市町村・地域振興局・支庁間情報交換会 | ・次年度の展開を検討 事業評価 |
| 地域振興局・支庁(モデル市町村管轄) | | モデル市町村の選定 | 新規モデル市町村との打合せ、地域診断・戦略策定のサポート | 新規モデル市町村戦略策定会議、先行市町村・地域振興局・支庁間情報交換会 | 新規モデル市町村現地視察の調整・随行 | 現地支援における調整・サポート | 教室立上げ後の現場支援 | | | 新規モデル市町村との事業まとめ | | |
| 先行モデル市町村 | 事業継続 | | (必要時)新規モデル市町村事業打合せに参加・助言 | | | 現地支援において先行モデルとして講師 | | | | (必要時)新規モデル市町村の事業打合せに参加・助言 | | 事業評価 |
| 介護福祉課 | 市町村へ意向調査 | | 事業説明(6/8振興局・支庁介護保険事務担当者会議等) | 市町村・地域振興局・支庁間情報交換会 | 各モデル市町村や地域振興局・支庁等へ状況確認。必要に応じて情報提供。 | | | | | | | 国へ報告書提出 |

2年も経つと課題も様々

■ 平成26年度の国モデル市町村

- ・事業評価(介護・医療費、体力測定、アンケート)
- ・継続支援の工夫, 脱落者フォロー, 世代交代

教室をどんどん立ち上げて手放したいのに, 報告作成が…(進んでいる市町村ほど大きな負担)

■ 平成27年度の国モデル市町村

- ・事務が負担, 細かな手法が分からない
- ・スタッフ不足? 「県で体操普及教室をしてほしい」

楽しいけど, 事務処理が~自分のスケジュールもよく分からなくなってきた~このままいくとどうなるの~

■ それ以外の市町村

- ・住民主体で本当にできるのか
- ・住民に「既存の教室のままでいい」と言われた
- ・「既に教室はあります」(どこまで住民主体? 虚弱高齢者も参加できる?)

■ 県介護福祉課・保健所

- ・モデル市町村が増えていく中での市町村支援(立上支援, 継続支援, 独自路線, 等)
- ・担当の交代



ということで、国アドバイザーへのお願い

☆平成28年7月27日(水)

先行市町村戦略会議：2時間

→先行市町村のお悩みにご助言ください。

☆平成28年7月28日(木)

● 研修会(全市町村対象)：一日

→これからの市町村をやる気にさせてください。

● 新規モデル市町村戦略会議：1時間

お待ちしております！

